

調布市長 長友貴樹様
調布市教育長 大和田正治様

2021年10月1日

新型コロナウイルス感染症から子どもを守るための新たな対策に関する緊急要望

日本共産党調布市議団 岸本直子
雨宮幸男
武藤千里
坂内 淳

デルタ株のまん延により、子どもの中でコロナ感染症が広がる新しい局面が広がっており、保育施設など子どもの施設の現場は厳しい状況が続いています。

調布市でも、8月だけで市内保育施設で20を超える休園がありました。市医師会と協力し陽性者が出た場合の検査の実施をはじめ、市独自の取り組みも行うなどの努力に敬意を表します。

小中学校は夏休みの延期、1週間のオンライン授業などを経て、現在、感染防止を徹底しながらの通常授業の実施が始まり、緊急事態宣言の解除をうけて、各種行事も実施されることとなりました。

市及び、各現場で対応している皆様の日ごろの努力に感謝いたします。

感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されましたが、今後予測されている第6波への対策が求められています。とりわけ子どもの感染防止対策が急がれます。

子どもたちの命と健康を守り、学校や保育施設の教育、保育活動を保障するためにさらなる感染防止対策の実施を求め、以下の要望をいたします。

1, 感染者の情報共有について

学校や幼稚園、保育施設、学童クラブなどで、陽性者が出た場合の情報の取り扱いについてです。基本的に学校や施設などの陽性者の情報は非公開です。しかし、市内の子ども関係施設では、感染状況を把握し各施設で効果的な感染防止対策を進めることが求められています。市内の子ども関連施設の感染状況に関して、感染防止の観点で、市の責任で施設などに対して市内の子供関係施設における感染状況の情報提供を行うことが必要です。

2, 学校

- ①教職員、児童・生徒対象の定期的なPCR検査もしくは抗原検査の実施。
- ②宿泊行事の際の、参加者のPCR検査の実施すること。
- ③各家庭で、児童・生徒の体調が悪くなった場合に、検査をしてコロナに感染しているかどうかを速やかに確認できるための検査キットの配布をすること。

3, 保育園, 幼稚園, 学童クラブ (児童館も含む) など

- ①教職員の定期的なPCR検査もしくは抗原検査の実施をすること。
- ②施設などで職員や子どもの具合が悪くなった場合に速やかに検査できるように検査キットを備えられるようにすること。
- ③各家庭で, 子どもの体調が悪くなった場合に, 検査をしてコロナに感染しているかどうかを速やかに確認できるための検査キットの配布すること。

4, 家庭への支援

- ①保護者などがコロナに感染した場合の子どもの保護について, 居場所の提供を行うこと。

上記の1～4の要望について、国及び東京都に要望するとともに、市独自の対策を要望します。